

送付票(本状含め2枚)  
宛先 各医療機関  
各地区医師会・歯科医師会・  
薬剤師会  
各市町村  
各市町村教育委員会  
送信者:富士・東部保健所 地域保健課

御中

平成28年4月18日  
富士・東部保健所

## 感染症発生動向調査情報(週報)

2016年14週(04月04日～04月10日)

### 山梨県内流行情報

インフルエンザの定点当たりの報告数が5つの保健所(支所)管内全てで減少しています。中北保健所峡北支所管内及び峡東保健所管内の警報レベルが解除となりました。インフルエンザの流行は続いているので引き続き手洗いうがいの励行、バランスのとれた食事等を心がけ、インフルエンザの感染予防に努めましょう。また、できる限り人混みを避け、体調が悪い時は無理せず十分な休養を取り、早めに医療機関を受診するとともに、咳エチケットなどの配慮も大切となります。

[今週の警報]:なし / [今週の注意報]:なし

### 富士・東部管内流行情報

現在、警報・注意報は出ておりません。インフルエンザの報告数は少なくなってきましたが、感染性胃腸炎の報告数が増えてきています。手洗いうがい・マスク着用を徹底するなど予防に努めると共に、体調管理には留意しましょう。

### 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	34672	7.02	456	0.14	716	0.23	5820	1.85	16861	5.35	1086	0.34
山梨県	205	5	-	-	3	0.13	38	1.58	105	4.38	8	0.33
中北	78	5.57	-	-	2	0.25	10	1.25	56	7	2	0.25
中北峡北	48	6	-	-	1	0.2	19	3.8	13	2.6	-	-
峡東	44	6.29	-	-	-	-	2	0.5	7	1.75	1	0.25
峡南	10	3.33	-	-	-	-	-	-	7	3.5	-	-
富士・東部	25	2.78	-	-	-	-	7	1.4	22	4.4	5	1
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	74	0.02	1061	0.34	1413	0.45	46	0.01	68	0.02	2568	0.81
山梨県	1	0.04	10	0.42	11	0.46	-	-	-	-	2	0.08
中北	-	-	2	0.25	8	1	-	-	-	-	1	0.13
中北峡北	1	0.2	1	0.2	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	1	0.25	1	0.25	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	6	1.2	2	0.4	-	-	-	-	1	0.2
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	13	0.02	395	0.57	14	0.03	20	0.04	156	0.33	6	0.01
山梨県	-	-	5	0.56	1	0.1	-	-	2	0.2	-	-
中北	-	-	-	-	1	0.33	-	-	1	0.33	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	2	1	-	-	-	-	1	0.5	-	-
峡南	...	...	...	...	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	3	1.5	-	-	-	-	-	-	-	-

(次ページあり)

## 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	14週		13週		12週		11週	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	減少しています	平年並みです	5	205	9.58	383	11.25	450	21.03	841
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	0.13	3	0.21	5
咽頭結膜熱	横ばいです	平年並みです	0.13	3	0.13	3	-	-	0.04	1
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	やや減少しています	平年並みです	1.58	38	1.88	45	2.13	51	3	72
感染性胃腸炎	やや増加しています	平年並みです	4.38	105	2.96	71	3.38	81	3.71	89
水痘	やや増加しています	平年並みです	0.33	8	0.17	4	0.17	4	0.08	2
手足口病	-	-	0.04	1	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	増加しています	平年並みです	0.42	10	0.29	7	0.25	6	0.46	11
突発性発疹	増加しています	平年並みです	0.46	11	0.17	4	0.29	7	0.25	6
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	やや減少しています	平年並みです	0.08	2	0.17	4	0.13	3	0.13	3
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	横ばいです	平年並みです	0.56	5	0.44	4	0.33	3	0.44	4
細菌性髄膜炎	-	-	0.1	1	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	横ばいです	平年並みです	0.2	2	0.2	2	-	-	0.2	2
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

## 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
五類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	富士・東部	男	68
五類感染症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	中北	女	57
五類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	中北	女	58